



すさき

ふれあいネットワーク

社協だより

第151号

令和5年(2023)1月1日発行
編集発行

須崎市社会福祉協議会

〒785-0007

高知県須崎市南古市町6-3

(0889)42-0736(代)

FAX 42-7876

<https://susaki-syakyo.or.jp>

印刷 有限会社 笹岡印刷所

42-0244

あったかふれあいセンターまちなかサロン 8店会から「はってん」へ

平成22年から多くの方にご利用いただいていた「まちなかサロン8店会」が同じ西糺町に移転し、8店会改め、「はってん」として令和4年11月7日にリニューアルオープンしました。

オープンイベントでは、「須崎フォークダンス花」の皆さんによる軽やかなダンスが披露され、須崎音頭では鳴子を持たせてもらった子どもたちが大はしゃぎ。続いて「りとみっくる」による素敵なピアノ演奏に、子どもたちも体を揺らしてリズムを取り、高齢の方も懐かしのメロディーにうっとり。サロンのスタッフもとても楽しいひと時を過ごさせていただきました。

これから「はってん」では、年齢に関係なく誰もが集える楽しい場所として様々なイベントを予定しています。ぜひ一度見に来てみてください。スタッフ一同とボランティアがお待ちしております。

☆新しい名称の「はってん」は、これからどんどん「発展」していく思いが込められており、利用者様から出された案が採用されました。



須崎市老人クラブ連合会

～3年ぶりのいきいき体育大会開催～

須崎市老人クラブ連合会では、新型コロナウイルス感染症対策として2年間行われていなかった、いきいき体育大会を3年ぶりに令和4年10月28日(金)に多ノ郷体育館で開催しました。吾桑・多ノ郷・南・新荘・須崎・上分地区に分かれ、各チームの元気な応援が飛び交う中、7種目の競技を行いました。競技の結果、僅差で優勝は上分地区、準優勝は多ノ郷地区でした。

普段のチームワークの良さがうかがえる和気あいあいとした姿の中にも、「うちの地区が絶対優勝する!」という意気込みが感じられました。

また、今回の体育大会では5地区の公民館・関係機関・ボランティアの皆さんにご協力をいただきましたことにお礼を申し上げます。

★老人クラブを作りたいというご要望やその他のご相談もお待ちしております。



お問い合わせ：須崎市老人クラブ連合会事務局 ☎0889-42-0736 (担当：山中)

地区社会福祉協議会 活動報告

地区社会福祉協議会って何ぞね？



地域の生活・福祉課題や困りごとを自分たちの問題と受け止め、関係機関と連携・協働しながら解決に向けて協議し、『誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり』を目指して活動する住民主体の団体の、市内6地区（須崎・多ノ郷・吾桑・上分・南・浦ノ内）に設置されています。

今回は、「南地区」と「多ノ郷地区」の地区社会福祉協議会の取組みについてご紹介します。

南地区社会福祉協議会の取組み

ふれあい給食サービスとして、民生委員や地域のボランティアが集まってお弁当を作り、地区担当の民生委員が75歳以上の独居高齢者等（80歳以上の夫婦世帯含む）への見守り訪問としてお弁当をお届けしながら、お話を聞いたり声かけをさせていただいています。

令和4年11月10日（木）のふれあい給食サービスは、南小学校の皆さんから寄付していただいたお米を使ってお弁当を作り、5年生の児童5人と一緒に配達を行いました。



ボランティアが作成した季節を感じられる折り紙が毎月添えられています。
11月のテーマは「お祭り」でした。



グループに分かれて、それぞれ5～6件のお宅に児童が配布しました。子どもたちがお弁当をお届けすると、皆さん「ニッコリ(^_^)」。
元気と笑顔をお届けすることができました！



多ノ郷地区社会福祉協議会の取組み

令和元年度の多ノ郷地区社協総会にて多ノ郷駅前とマルナカ須崎店周辺の道路によくゴミが落ちているとの意見が出たことから、地区社協として清掃活動に取り組むようになりました。清掃活動を始めて3年目となる今年は、令和4年11月20日（日）に地域の皆さんにもご協力いただきながら実施することができました。

人通りの少ない道にたばこの吸い殻や空き缶などのゴミが集中しており、清掃開始後すぐにゴミ袋がいっぱいになってしまいう方もいました。回収したゴミの分別も皆で協力して行い、清掃をした一帯はとてもきれいになりました。今後も継続し活動を続けていきたいと思います。



須崎市民生委員児童委員協議会

委嘱辞令伝達式及び組織総会を開催しました

令和4年12月1日に民生委員・児童委員の全国一斉改選に伴う委嘱辞令伝達式が須崎市立市民文化会館において開催されました。任期は、当日から令和7年11月30日までの3年間となります。73人が厚生労働大臣、高知県知事から委嘱を受け、市長から伝達されました。

伝達式終了後の組織総会では新役員が選任され、新体制がスタートしました。これからも、社会奉仕の精神を忘れず、地域住民の立場に立った活動を心がけ、協議会が一体となって地域福祉活動の推進に努めていきます。



監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副会長	会長	新役員
高橋	市川	田部	中川	濱	青木	中城	中村	谷岡	金澤	高橋	西村
千代利	裕子	雅彦	加代	哲夫	郁夫	徹	磨	留美子	豊子	晶子	貴尚

お知らせ

須崎市社会参加事業 スポーツレクリエーションの開催

日時：令和5年2月4日(土)
12:00～16:00

※交流ひろばすさき駐車場からバスで向かいます。

場所：高知県立障害者スポーツセンター
(高知市春野町内ノ谷1-1)

内容：ポッチャやフライングディスクなど

対象者：須崎市に住所があり、障害者手帳等
をお持ちの方

申込締切：令和5年1月20日(金)

須崎市生活訓練等事業 料理教室の開催

日時：令和5年2月16日(木)
10:00～11:30

場所：上分交流会館 調理室

対象者：須崎市に住所があり、障害者
手帳等をお持ちの方

申込締切：令和5年2月2日(木)

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止となる場合があります。

参加希望の方は下記まで
ご連絡ください

【須崎市社会福祉協議会】
☎ 0889-42-0736
(担当:伊藤)





『人生会議』してみませんか？



令和4年11月14日に高幡5市町・医療介護関係者合同研修会が須崎市立市民文化会館で開催されました。

中土佐町・津野町・四万十町・梶原町・須崎市の医療・介護・福祉関係者等の様々な職種が集まり、高知県立大学看護学部の森下安子先生をお招きし、講義していただきました。

須崎市地域包括支援センター職員も数名参加しており、講義の中で「人生会議」についてのお話がありましたので皆さんに知っていただき、考えるきっかけにしていきたいと思い、内容の一部をご紹介します。



まず、「人生会議」とは、自分自身が大切に思っていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて元気な時から前もって考え、信頼する人たちと話し合うことです。※アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とも呼ばれています。

命の危険が迫った状態になると約70%の人が医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。自分が希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどんな医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、信頼する周囲の人たちと話し合い、共有しておくことが重要です。

●なぜ考えておくのか…

あなたの希望や価値観は、あなたの望む生活や医療やケアを受けるためにとても重要です。

●何を考えておけばよいか…

自分の思いを伝えられなくなった時に、誰とどこで最後に過ごしたいか、食べ物が食べられなくなったら水分や栄養は？延命処置は？治療の続行は？臨終への立ち合いは？誰に判断を任せるのか？などが想定されます。

●いつ考えればよいか…

自分の思いや考えが伝えられなくなる時はいつなのか予測できません。だからこそ元気な時に考えてください。(お盆や正月でみんなが集まる時、誕生日、退職時、入院や退院、介護が必要になった時など)

●どのように話し合えばいいのか…

自分の思いや考えを家族、医療者、介護者に話しておくことです。何度でも繰り返し話し合うこと、何かに書いておくことが大事です。

以上ですが、より詳しい内容については高知県健康政策部・在宅療養推進課からパンフレットが発刊されていますので、そちらもご参照ください。

須崎市身体障害者連合会 活動報告

令和4年11月12日(土) 梶原町身体障害者連盟との交流会を行いました!

令和3年度は梶原町に招待していただき、観光名所を巡りながら交流を行いました。今年度は梶原町身体障害者連盟の皆さんを須崎市に招待し、須崎の町並みや海を見ていただきました。

食事後の交流会では、お互いの団体の取組を紹介したり、今後どのような活動展開を考えているかなどの意見交換を行い、会員同士の交流を深めることができました。

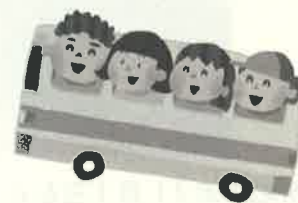
梶原町身体障害者連盟の取組を聞き、帰路のバスの中で、須崎市においても『コロナ禍でできること』を模索しながら引き続き会員同士の交流を図り、活動を活発化させていきたいとの意見が聞かれました。



(鳴無神社にて集合写真)



(食事後の交流会の様子)



須崎市身体障害者連合会では会員同士の親睦・交流を深めるための事業の実施や、私たちの思いを声にし、地域福祉向上を各方面に働きかけるといった活動を行っています。障害のある人が豊かに暮らせる社会を目指して、一緒に活動していただける新たな会員を募集しています。

お問い合わせ：須崎市身体障害者連合会事務局 ☎0889-42-0736 (担当：伊藤)

訪問介護ヘルパー募集中

資格要件 介護職員初任者研修(ヘルパー2級)以上
仕事内容 生活援助(買物、調理、掃除、洗濯等)
 身体介護(排泄介助、入浴介助、移乗等)
賃金 時給1,000円から
 処遇改善加算手当、勤続年数による時給UP、その他手当あり
有給休暇あり 勤続6年～最大付与20日 半年勤務で最低1日以上
 (※働く時間、日数等で付与日数は変わります)



週間シフトによる勤務のため、ご希望の休みや有休も取得しやすい環境です。
 詳細は面談にてご説明します。お気軽に電話にてお問い合わせください。

お問い合わせ 指定訪問介護事業所 ☎0889-42-0789

須崎市社会福祉協議会 善意銀行・寄付お礼

大野 曠 様(西糺町)から社会福祉のために10万円のご寄付をいただきました。

こころ温まる善意に感謝し、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

須崎市社会福祉法人連絡会

第1回フードドライブキャンペーンへのご協力ありがとうございました!



令和4年11月1日から11月30日まで『第1回フードドライブキャンペーン』として、市内の各社会福祉法人(須崎福祉会、須崎市福祉事業協会、あおば会、須崎市保育協会、須崎市社会福祉協議会)と各公民館で食品の寄付受付を行っていました。初めての試みにもかかわらず、皆様のご協力・善意のおかげでたくさんの食品が集まりました。

集まった食品は、令和4年12月21日(多ノ郷公民館)と22日(須崎公民館)に実施した譲渡会にてコロナ禍や物価高騰の影響などで食事や生活に困っている方に配布させていただきました。

フードドライブとは

様々な事情で生活にお困りの方に、皆さんから寄付していただいた食品を提供する活動です。

須崎市では、須崎市社会福祉協議会が「おすそわけソーコ」としてフードバンク事業を実施しており、食品の寄付を常時受付けています。頂いた食品は生活にお困りの方にお渡しするなど有効に活用させていただきます。おすそわけソーコについてのお問合せは下記をお願いします。

【お問い合わせ】須崎市生活支援・総合相談センターほっと ☎0889-40-0358

須崎市社会福祉法人連絡会について

須崎市内5法人が連携し、個々の法人が持つ資源や専門性をつなぎ合わせ、住民や他機関との協働のもと、社会福祉法人の責務である、「地域における公益的な取組」を実践することを通じ、地域生活課題の解決を目指す担い手として、地域共生社会の実現に寄与することを目的に、令和4年11月1日に発足しました。



おすそわけソーコ 食品寄付お礼

- ・西崎町にお住まいの方に、食品を寄付いただきました。
- ・岡田利明様から、お米(120kg)を寄付いただきました。

有効に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

